



家庭通信 5月号

2023年4月28日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

新緑が美しい季節になり冬の間は枯れ葉や土の中でひっそりとしていた小さな生き物も活発に動き出しています。小さいクラスの子どもたちにとって、初めて触れることができるダンゴムシやテントウムシとの出会いは、特別で発見がいっぱいです。さっきまで涙が出ていた子どもも園庭に出て来ると気持ちが切り替わり、自分の世界を楽しめるようにもなっています。

さて、おだ認定こども園では40年以上前から年中組と年長組は午後の時間を「わんぱく保育」と名付けて戸外遊びを中心にする時間を設けています。理由はTVゲームの流行とほぼ同じころから『けがをしやすい』『遊びに誘っても長続きしない』等子どもたちの生活に変化が起こり、このままでは、幼児期の子どもたちが主体的に様々な体験を通して学ぶ機会が少なくなり、この時期にしか学ぶことが出来ないことがおざなりになってしまうのではないかと危惧したことです。

おもちゃに遊んでもらうより、たくさんのお友だちと遊ぶ場を提供することを園の役割として、保育時間を3時まで延ばし『わんぱく保育』としました。『遊べる子』を目指して、泥んこ遊び、公園や山への散歩、体力づくり等々子どもたちが意欲的に取り組める内容を考えて、一緒に楽しんでいます。

今年もまもなく年中組のわんぱく保育が始まり、保育時間が長くなります。『進級児は慣れているからもっと早く』というご意見もございますが、5月は『張り切りすぎていた4月』の疲れが出たり、急激な気温の変化に、身体がついていかなかったりしがちです。子どもたちの発達に無理のないリズムを大事にしながら、ゆっくり『たくましい心身が発達』するのを見守っていきましょう。

5月のねらい

<年長組>

- 様々な自然に関わり、遊びに取り入れたり、世話をしたりする中で、興味関心を深める。
- 友だちと一緒に遊ぶ中で、自分の思いやり考えを言葉で伝える。相手の話を聞こうとする。
- 体を動かして遊ぶことを楽しみ、開放感を味わう。

<年中組>

- 園での生活の仕方が分かり、自分でできることを進んで行おうとする。
- 様々な遊びに興味を持ち、自分のやりたい遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ。
- 保育者や友だちと一緒に戸外でからだを動かして遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で身近な春の自然に触れたり関わったりして遊ぶ。

<年少組>

- 保育者との触れ合いを通して安心して過ごす。
- 生活の仕方が分かり、保育者と一緒に身の周りの始末をしようとする。
- 好きな遊びを見つけて遊ぼうとする。
- 身近な自然に触れながら、戸外で遊ぶ心地よさを感じる。

<2歳児>

- 自分の思いを保育者に受け止めてもらい、安心して過ごす。
- 身近な虫や草花に興味を持って見たり触れたりする事を楽しむ。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。